

## カリキュラム

### 本プログラムの必修・選択科目

#### 研究科共通科目

(開発リテラシー)  
国際開発入門  
日本の開発経験

(調査・分析手法)  
フィールドワーク入門  
言語情報処理入門

リサーチデザインと言語統計処1(いずれか2科目)  
文化・社会研究方法論

#### プログラム必修科目

(基礎科目)  
開発政治学Ⅰ・Ⅱ(ガバナンス)  
開発法学  
国際協力法

(演習)  
ガバナンスと法演習Ⅰ・Ⅱ

#### プログラム内応用選択科目

国際経済法  
国際競争法  
国際協力法政論  
アジア法  
比較開発法政論  
ガバナンスと法特論Ⅰ・Ⅱ  
ガバナンスと法特殊講義Ⅰ・Ⅱ  
平和構築学  
紛争の国際政治学  
貧困削減政策論

#### 協力講座提供選択科目

比較国際法政システム論  
比較国際法政システム特論Ⅰ・Ⅱ  
比較国際法政システム特殊講義Ⅰ・Ⅱ  
比較国際法政システム演習Ⅰ・Ⅱ

#### その他選択科目

(他プログラムで提供されているその他科目群)  
(他研究科で提供されている関連科目群)  
[法学研究科]  
地方自治論  
地域政治論Ⅱ(アジア)  
現代公共政策  
行政学  
国際法  
現代公共政策

#### (国際協力専攻共通科目)

開発途上国公共政策論Ⅰ・Ⅱ  
国際環境協力論

研究科共通特論Ⅰ・Ⅱ  
研究科共通特殊講義Ⅰ・Ⅱ

#### 他プログラム提供選択科目

開発社会学  
開発経済学  
開発公共政策  
参加型地域振興論  
教育開発・協力論

#### 修了要件

\*修士課程修了には、講義科目16単位以上を含む合計30単位以上を修得し、  
修士論文提出と口述試験合格を必要とする。

#### 主専門分野認定要件

\*本プログラムの認定要件は、プログラム必修科目2科目4単位、演習4単位、  
プログラム内応用選択科目より2科目4単位の合計12単位とする。

\*研究科共通科目から10単位を選択必修とする。

その内、「国際開発入門」と「日本の開発経験」は必修。

\*国際協力専攻共通科目は、研究科共通科目としてもプログラム選択必修科目としてもカウントすることができる。

\*他研究科の科目群については、指導教員の承認を得て、合計10単位まで、本プログラムの  
認定単位として算入可とする。

\*特別な理由がある場合は、プログラム代表者の許可を得て、これら以外の科目を履修してもよい。

#### 副専門分野認定要件

\*本プログラムの演習を除く必修科目および応用選択科目を8単位以上修得した他プログラムを主専門分野とする学生に対しては、  
学位取得時に本プログラムを副専門分野として認定する。

#### 備考

#### 専門教育プログラム別推奨選択科目

(経済開発政策と開発マネジメント)  
開発経済学  
開発公共政策

(農村・地域開発マネジメント)  
参加型地域振興論

(教育・人材開発)  
教育開発・協力論

(ガバナンスと法)  
上記参照

(平和構築)  
平和構築学  
紛争の国際政治学

(社会開発と文化)  
貧困削減政策論  
開発社会学

[法学研究科]  
地方自治論  
地域政治論Ⅱ(アジア)  
現代公共政策  
行政学  
国際法

#### 履修の流れ

##### (1年前期)

(開発リテラシー)国際開発入門  
(調査・分析手法)講義群  
(実務家・専門家)講義群  
(フィールドワーク)海外実地研修/国内実地研修

(演習・基礎)

##### (1年後期)

日本の開発経験

(基礎科目)  
(その他選択必修科目群)  
(プログラム内応用選択科目群)  
(演習・基礎一応用)

##### (2年前期)

(個別フィールドワーク)

(基礎科目群)  
(演習・論文指導)

##### (2年後期)

(実務家・専門家講義群)  
(個別フィールドワーク:追加調査など)

(プログラム内応用選択科目群)  
(演習・論文指導)